古文書を読む会学習記録

作成日 平成29年 7月16日

	作成日 平成29年 /月16日 		
開催日	平成29年 7月13日	時 間	10:00~12:00
場所	金沢公会堂リハーサル室	出席人数	13名
講師	真田 雅行氏	作成者	鈴木 浩士
テーマ	第一学習 富岡村 大胡家文書 ④ (および 宿村 森家文書)		
概 要	第一学習 富岡村 大胡家文書 ④ (および 宿村 森家文書) 1. 大胡家文書 (1) 富士講に関する通達 富士信仰の先達と偽って行衣を着て護符を出し、加持祈祷をなす者がいる。これらは俗人の身分であるにもかかわらず食行同行などと言って講仲間を集めている。これらの行為は度々町触で禁止している。今後このような者が現れないよう厳重に注意すること。 (2) 海岸付近の絵図面提出命令嘉永2年、寺社奉行所より「知行給地、寺社領とも1村毎に海岸の長さ、海岸までの距離、海の浅深、左右隣の領名、前村の名前、相給の名前など詳細に調べ絵図面にして提出せよ」とのお触れが出た。宛先は福寿院をまとめ役として、以下の各寺院。染王寺・宝樹院・自性院・万蔵院・金蔵院・正法院・持明院・宝珠院・慶珊寺・宝蔵院・薬王寺 2. 森家文書 (1) 売渡し證文 (売渡シ申手形の事) 中ミちにて山壱代取代として、金子2両3分で売切った。御公儀の諸役、年貢などはお勤めください。今後はそちら様に難しいことは申しません。元禄3年 甚左衛門殿 売主 伝左衛門即 (2) 借用證文 (借用申金子の事) 質物、上畑5畝15分として、金4両借用。元禄4年未8月13日 沖右衛門殿 地主 三十郎即 (3) 借用證文 (一札之事) お屋敷25分、亥ノ年より申ノ年まで10年間お貸しします。元禄8年亥4月24日 沖右衛門殿 半兵衛卿、吉右衛門卿、七郎右衛門卿		
次回予定	第二学習 和宮様御下向		